



## 授業参観お世話になりました

9月22日(金)授業参観を行いました。今回は道徳の授業を観てもらいました。学級懇談やPTA研修等がなく授業参観のみでしたが、多くの保護者の方に来校していただき、ありがたく思っています。

それぞれの学年で年間計画に基づき、学級の実態に合わせて題材を選んでの実践となりました。ご存じのとおり、小学校では2018年度(平成30年度)から「特別の教科」道徳としてスタートしています。以前の道徳と大きく変わったのは次の3点です。

- ①教科外の活動から、「特別の教科」となったこと
- ②検定教科書が使用されるようになったこと
- ③記述式の評価を行うようになったこと

2011年に発生した津市の中学生のいじめによる自死が契機となった背景もあります。私が小学校の時に学んだ道徳や教師になりたての頃の道徳と言えば、一方的に教師側からの価値観を押し付けたり、半ば説教じみた授業が多かったように記憶しています。

いじめを容認したり、助長したりする考え方のおかしさに子供たち自身が気づき、考え、行動できるような道徳の授業を目指していきたいと思っています。



## 全国学力学習状況調査の結果について

4月に6年生対象に実施していた全国学力学習状況調査の結果が出ましたので概要についてお知らせします。本年度は、国語と算数について調査しました。全国平均と比較すると両教科ともやや全国平均を下回る結果となりました。領域別にみると、国語においては、「話すこと・聞くこと」に関しては全国平均を上回りましたが、「書くこと」について下回りました。算数においては、全ての項目について平均並みかやや下回っていました。

児童質問紙については、多くの質問に対しておおむね高い評価でした。特に「自分には良いところがある」「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」「将来の夢や目標を持っている」「先生は分からないところを分かるまで教えてくれる」「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」などの項目で大きく全国や県の平均値を上回りました。

教科に関する結果はやや厳しい結果となりましたが、児童質問紙の回答状況を見る限り、「やる気」をもって学校生活を送ることができています。この「やる気」を「自信」に変えていくために、調査の結果から見えた課題を学校全体の課題として、職員一丸となって、授業改善や教育活動の充実に向けて取り組んでいきます。



## 水俣に学ぶ肥後っ子教室に行ってきました



9月15日(金)、5年生が水俣に学ぶ肥後っ子教室に行ってきました。熊本県では、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に、県下の5年生を対象にした「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施しています。

これから、語り部の方の話の聞いたり、水俣の海を見たり、水俣病資料館や環境センターで学習したりしたことをもとに、現地に行って実際に見て、聞いて、感じたことをしっかりまとめていきます。今回も海東小学校の5年生と合同で行って来ましたので、学んだことを交流する学習も計画しています。